

承認番号	3482
研究課題名	股関節唇損傷における保存療法、股関節鏡手術成績評価
研究の意義・目的	股関節唇は外傷、骨形態異常、加齢などによる変性によって損傷する。股関節唇損傷に対する治療は一般的には保存療法を行い、保存療法に抵抗性の場合、手術加療を行うとされている。保存療法には薬物療法、理学的運動療法があるが、理学的運動療法においては、どの運動が効果的かは不明である。また手術加療において、股関節唇を切除する場合と縫合する場合があります、その適応においては縫合術の方が成績が良いとされている詳細不明である。以上の事から股関節唇損傷が疑われる患者に対する保存療法、手術療法の治療成績を解析することによって、今後の股関節唇損傷に対する治療方針を定めるうえで重要な研究と考えられる。今回の研究では、当院での股関節唇損傷患者に対する臨床成績を評価する事である。
研究期間	2016年7月29日～2027年3月31日(西暦)
研究対象者の範囲	2012年8月1日～2026年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院整形外科で、股関節疾患の診断、治療のため受診された入院、通院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、単純レントゲン、CT、MRI
利用者の範囲	得られた情報は自施設のみで利用します。これには、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。
研究機関の情報	(該当しません)
代表施設のURL	(該当しません)
試料・情報を公表する方法	国内外の整形外科領域を中心とした学術集会や学術誌にて報告することで情報を公開します。この時、個人情報特定される事はありません。
試料・情報の提供方法	(該当しません)
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 橋本祐介
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究組織：大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 住所：545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話：06-6645-2121 研究代表者：橋本祐介